

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	ことばの教室ことのは5号館		公表日 令和 8年 4月 30日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	4	現在は屋外チーム・屋内チームに活動を分けるなど、安全な環境づくりに工夫しております。	夏場、屋外（園庭）で活動を行う際には熱中症に配慮が必要であると考えています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	5		スタッフは日々適切に配置しております。利用者数の増加に対応しながら、引き続き質の高い療育を提供できるよう取り組んでまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	4	利用児童の活動場所や時間を分ける工夫を行い、安全を確保しております。また特性に応じてマンツーマンの体制を整えてまいります。	死角になる箇所が多く、事故防止に配慮が必要だと考えています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	4		玩具や遊具の点検を徹底しながら、整った環境で活動が提供出来るように努めてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	0	児童自身が判断し、好む部屋を使用する環境を整えるよう心掛けております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	3	昼礼や終礼などで業務内容の話し合いや見直しを行っております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	4		保護者評価を受け改善につなげたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	2	毎月管理者による個人面談や、職種に応じた話し合いの場を設け意見交換をしております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	12		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	4		研修という形ではないが、日々の昼礼や終礼で児童の事例検討を行い、知識の共有を行っております。今後は研修も定期的で開催したいと考えております。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	0	支援プログラムを玄関先に掲示し、保護者へ配布しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12	0	保護者や児童へ聞き取りを行い、職員間にて協議を行い作成しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	0	言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、保育士等と検討をしております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	0	支援会議を実施し、共通理解ができています。支援に沿った支援を行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	3		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	0	個々の児童に合わせた支援内容を設定しています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	2	安全な活動が提供出来るよう支援場所や内容を児童に合わせて検討しております。	各個人で話し合い、活動が決まる事も多いため、活動を検討する時間を設けたいと思います。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	0	日々の児童の要望に沿って活動を実施しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12	0	児童の様子に応じて個別と集団活動を組み合わせ作成して作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	4	新入職員や時給制職員に対して、積極的な声掛けを行い支援内容や注意点などの確認を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	2	昼礼や終礼で振り返りを行い、重要内容に関しては事業所内でのLINEなどの共有ノートを使用し情報の共有を行っております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0	記録は徹底しており定期的に支援の検証をしております。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	0	定期的にモニタリングを行い見直しを行っております。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	0	管理者や児童発達支援管理責任者が情報を聞き取り、会議に参加しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	0	必要に応じて、事業所から児童の特性をまとめた資料を提供し、公平な支援が受けられるようなサポートに取り組んでいます。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	0	会議などに参加した際に日々の活動内容に加え、活動中に見られた特性などについてもまとめ報告させて頂いております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	2		今後連携の必要があれば助言等を求めています。	

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	7	活動の中で公共施設を利用し、地域の児童と一緒に活動する機会を設ける意識をしております。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	日々対面にて状況を共有しており課題等についての共通理解が出来ていると考えております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	2		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12	0	契約時や計画書の更新時などの際に、管理者より説明を行っております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12	0	児童発達支援管理責任者より説明を行い同意を得ております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	日々の申し送りの中で、保護者との情報交換から悩みなどを共有頂き、その際に助言を行っております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	8		一度開催は出来たが、定期的な開催が難しい状態でした。今年度は定期開催を目指し取り組んでいきたいと思っております。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	0	相談等の申し入れがあった際には対応させて頂いております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	0	定期的にInstagramにて活動の様子等を紹介しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	0	施錠可能な棚に保管を行う等取り扱いには配慮しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	6	招待は出来ていないが、近隣の老人施設に出向き、季節のイベントを合同で開催する事が出来ました。	今後は事業所内でのワークショップ企画などを計画しております。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	0	有事の際に対応出来るように事業所内にマニュアルを常備しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	0	業務継続計画を適宜更新しており、年に2回避難訓練を実施しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	0	服用依頼があった際には服薬依頼書を記入してもらい職員間にて共有しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	0	活動の際に、飲食を行う際は直接ご家族よりアレルギーの有無を確認し対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	0	安全計画を作成し、定期的に更新しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	4		

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	0	昼礼や終礼にて、状況を再現しながら確認しています。再発防止に向けた話し合いをもとに書面に残しております。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	2		児童への対応について、各個人で確認している事が多いです。共通認識を増やす為にも研修を取り入れたいと計画しております。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12	0	身体拘束の事例が発生した際には法人内の身体拘束適正化委員会にて対応を協議しています。	